

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・ 通信制の 場合	実務経験のある 教員等による 授業科目の 単位数又は授 業時数	省令で定める 基準単位数又 は授業時数	配 置 困 難
	ドッグトレーニング 学科 しつけインストラ クターコース		1,504 時間	160 時間	
	ドッグトレーニング 学科 補助犬・セラピー 犬トレーナーコー ス		1,437 時間	160 時間	
	ドッグトレーニング 学科 保育・介護アドバ イザーコース		1,440 時間	160 時間	
	動物飼育管理学科 動物飼育・アニマ ルコミュニケーター コース		2,194 時間	240 時間	
	動物飼育管理学科 アニマルセラピー コーディネーター コース		2,172 時間	240 時間	
	動物飼育管理学科 動物保護・福祉ア ドバイザーコース		2,330 時間	240 時間	
	ペット栄養・メデ ィカルトリマー学 科		1,612 時間	160 時間	
	ネイチャーアクア リウム学科 ネイチャーガイ		1,504 時間	160 時間	

	ド・フィッシング コース				
	ネイチャーアクア リウム学科 昆虫・爬虫類コ ース		1,594 時間	160 時間	
	ネイチャーアクア リウム学科 ネイチャーアクア リウムコース		1,594 時間	160 時間	
	ネイチャーアクア リウム学科 錦鯉ビジネスコ ース		1,594 時間	160 時間	
	ペット美容学科 サロントリマー・ ペットエステコ ース		1,712 時間	160 時間	
	ペット美容学科 ねこ・うさぎグル ーミングコース		1,696 時間	160 時間	
	動物看護師・美容 学科		3,036 時間	240 時間	
	ペットショップビ ジネス学科 総合動物飼育コ ース		1,552 時間	160 時間	
	ペットショップビ ジネス学科 猫飼育プロコース		1,552 時間	160 時間	
	ペットショップビ ジネス学科 ペットフード・グ ッズアドバイザー コース		1,520 時間	160 時間	
	水族館・ドルフィン ン学科		1,536 時間	160 時間	
	動物看護師・リハ ビリ介護学科		2,876 時間	240 時間	
	愛玩動物看護師・ リハビリ・トリマ ー学科		3,094 時間	320 時間	
	動物看護師・リハ ビリ・トリマー学 科		2,828 時間	320 時間	
	大学併修 総合動 物看護学科		3,664 時間	320 時間	
	海洋生物・アクア リウム学科		2,864 時間	320 時間	

	大学併修 海洋生物・自然環境学科		3,136 時間	320 時間	
	動物飼育・ケア学科 オンライン・通学コース		688 時間	80 時間	
	動物飼育・ケア学科 内部進学・専攻コース		872 時間	80 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

国際ペットワールド専門学校ホームページにて公表

[jitumu.pdf \(wan-c.jp\)](#)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

国際ペットワールド専門学校のホームページにて公表
[officer.pdf \(wan-c.jp\)](#)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2023年6月 1日～2027 年5月31日	政策的観点
非常勤	団体職員	2023年6月 1日～2027 年5月31日	教育統括的視点
非常勤	弁護士	2023年6月 1日～2027 年5月31日	法的観点
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>専門士授与、高度専門士授与、専門学校卒業の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、犬猫のしつけインストラクター、および、愛玩動物看護師、アニマルセラピーコーディネーター、ペット栄養管理士、飼育員、リハビリマッサージ、ネイチャーアクアリスト、水族館飼育員としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、副校長、学校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>

<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>国際ペットワールド専門学校ホームページにて公表</p> <p>ドッグトレーニング学科 dog_training.pdf (wan-c.jp)</p> <p>動物飼育管理学科 rearing_management.pdf (wan-c.jp)</p> <p>ペット栄養・メディカルトリマー学科 nurse_trimmer.pdf (wan-c.jp)</p> <p>ネイチャーアクアリウム学科 nature_aquarium.pdf (wan-c.jp)</p> <p>ペット美容学科 pet_beauty.pdf (wan-c.jp)</p> <p>動物看護師・美容学科 nurse_beauty.pdf (wan-c.jp)</p> <p>ペットショップビジネス学科 care_business.pdf (wan-c.jp)</p> <p>水族館・ドルフィン学科 suizokukan_dolphin.pdf (wan-c.jp)</p> <p>動物看護師・リハビリ介護学科 nurse_rehabilitation.pdf (wan-c.jp)</p> <p>愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科（4年生） rehabilitation_trimmer.pdf (wan-c.jp)</p> <p>動物看護師・リハビリ・トリマー学科 （愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科から名称変更 3年生） nurse_management.pdf (wan-c.jp)</p> <p>大学併修 総合動物看護学科 （動物看護師・リハビリ・トリマー学科から名称変更 1・2 年生） heishu_nurse.pdf (wan-c.jp)</p> <p>海洋生物・アクアリウム学科（3年生） marine_aqua.pdf (wan-c.jp)</p> <p>大学併修 海洋生物・自然環境学科 （海洋生物・アクアリウム学科から名称変更 1・2年生） marine_nature.pdf (wan-c.jp)</p>
-------------------	--

	<p>動物飼育・ケア学科 rearing_care.pdf (wan-c.jp)</p> <p>毎年 4 月に該当年度のシラバスを、学校のホームページにて公表する。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>	
<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>成績は、科目ごとに100点満点で点数を算出し、95点以上を「S」、80点以上95点未満を「A」、70点以上80点未満を「B」、60点以上70点未満を「C」、60点未満「D」、として評価する。</p> <p>これらの成績分布を、GPAによる客観的な指標として、成績分布状況の把握と公表を行う。</p> <p>GPAは、下記の通り算出する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学生一人ずつ、全科目の評価を、 <ul style="list-style-type: none"> 「S」評価…5点 「A」評価…4点 「B」評価…3点 「C」評価…2点 <p>として換算し、履修した全科目の平均点を、その学生のGPAとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> ② 算出されたGPAから、学生のGPAの人数分布図を作成する。 ③ 下位4分の1のGPAが何点か分かるように表示する。 ④ 学科ごとにGPAの人数分布図を作成し、その結果について、学校のホームページにて公表する。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>国際ペットワールド専門学校ホームページにて公表 distribution.pdf (wan-c.jp)</p>

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には、動物、ペットを扱う学科においては、動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。また、水生生物を扱う学科においては、水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>① 年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>② 科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③ 授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>① 年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>② 科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③ 学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④ 授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>「学生の手引き」に記載し、学生証アプリのシステム内に保存したものを学生と保護者が閲覧できるようにしている。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	国際ペットワールド専門学校
設置者名	学校法人 国際総合学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 R51%0(zŠ0 ksg.xls (wan-c.jp))
収支計算書又は損益計算書	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 R51%0(zŠ0 ksg.xls (wan-c.jp))
財産目録	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 2024.3;#i2(f).xlsx (wan-c.jp)
事業報告書	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 r5_jigyouthoukoku.pdf (wan-c.jp)
監事による監査報告（書）	国際ペットワールド専門学校ホームページに記載 r5_kansahoukoku.pdf (wan-c.jp)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ドッグトレーニング学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	しつけインストラクターコース 1,824 単位時間	624 時間	時間	1,200 時間	時間	時間
			1,824 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	補助犬・セラピー犬トレーナーコース 1,792 単位時間	624 時間	時間	1,168 時間	時間	時間
			1,792 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	保育・介護アドバイザーコース 1,792 単位時間	624 時間	時間	1,168 時間	時間	時間
			1,792 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
30人		35人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ドッグトレーナーとしての専門技能および、実際に生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、副校長、学校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <ol style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p><卒業の条件></p> <ol style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定（第4章9. 取得検定を参照）を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談システムを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
24人 (100%)	0人 (0%)	24人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
ペットショップ、その他ペット関連企業			

<p>(就職指導内容)</p> <p>目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを 行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>コミュニケーション検定初級…92.9%合格、社会人常識マナー検定 3 級…100%合格、愛 玩動物飼養管理士検定 2 級…100%合格、Word 検定 3 級…92.9%合格、Excel 検定 3 級… 64.3%合格、マナーハンドラーテスト…57.1%</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
38 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物飼育管理学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	動物飼育・アニマルコミュニケーションコース 2,610 単位時間	1,440 時間	時間	1,170 時間	時間	時間
			2,610 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	アニマルセラピーコーディネーターコース 2,618 単位時間	1,416 時間	時間	1,202 時間	時間	時間
			2,618 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	動物福祉・トータルケアアドバイザーコース 2,746 単位時間	1,384 時間	時間	1,362 時間	時間	時間
			2,746 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		79人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、アニマルコミュニケーション、アニマルセラピーコーディネーター、飼育員としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、副校長、学校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワー</p>

<p>クの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p><卒業の条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。</p> <p>産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談システムを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25人 (100%)	0人 (0%)	24人 (96%)	1人 (0%)
(主な就職、業界等)			
ペットショップ、畜産業、その他のペット関連施設			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			

(主な学修成果 (資格・検定等))

コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定 3 級…100%愛玩動物飼養管理士 2 級…100%合格、損害保険募集人基礎単位…81.4%合格、Word 検定…96.2%合格、Excel 検定…71.6%合格、ペット栄養管理士…100%合格、ホリスティックケアカウンセラー…100%合格、マナーハンドラーテスト…34.4%合格

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
84 人	2 人	2.3%
(中途退学の主な理由) 授業に興味がない、精神的な病のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペット栄養・メデイカルトリマー学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,788 単位時間	692 時間	時間	1,096 時間	時間	時間
			1,788 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		43人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマーや動物看護助手としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務主任、教務部長、副校長、学校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談システムを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
ペットショップ、トリミングサロン、動物病院、その他のペット関連施設			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
コミュニケーション検定初級…92.3%合格、社会人常識マナー検定3級…92.3%、愛玩動物飼養管理士2級…100%合格、サロントリマー検定3級…100%合格、Word検定3級…100%合格、Excel検定3級…76.9%合格、サロントリマー検定2級…100%合格、ペット栄養管理士92.3%合格、動物診療助手…76.9%合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42 人	2 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 精神的な病、生活環境の乱れのため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ネイチャーアクアリウム学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	ネイチャーガイド・フィッシングコース 1,712 単位時間	752 時間	時間	960 時間	時間	時間
			1,712 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	昆虫・爬虫類コース 1,712 単位時間	784 時間	時間	928 時間	時間	時間
			1,712 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	ネイチャーアクアリウムコース 1,712 単位時間	752 時間	時間	960 時間	時間	時間
			1,712 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	錦鯉ビジネスコース 1,712 単位時間	752 時間	時間	960 時間	時間	時間
			1,712 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		23人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ネイチャーアクアリストとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、副校長、学校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法

<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定（第4章9. 取得検定を参照）を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談システムを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
13人 (100%)	0人 (0%)	13人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
水槽器具メーカー、アクアリウムショップ、養鯉業			

<p>(就職指導内容)</p> <p>目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。</p>
<p>(主な学修成果 (資格・検定等))</p> <p>コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定 3 級…100%合格、Word 検定 3 級…85%合格、Excel 検定 3 級…50%合格、観賞魚飼育管理士ベーシックレベル…100%合格</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
22 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペット美容学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	サロントリマー・ペットエステコース 1,872 単位時間	1,416 時間	時間	1,408 時間	時間	時間
			1,872 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	ねこ・うさぎグルーミングコース 1,856 単位時間	496 時間	時間	1,360 時間	時間	時間
			1,856 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
80人	92人	0人	28人	7人	25人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマーとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、副校長、学校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満

<p>・「D」60点未満 D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談システムを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
34人 (100%)	0人 (0%)	34人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) ペットショップ、トリミングサロン、動物病院、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーション検定初級…97.8%合格、社会人常識マナー検定3級…93.2%、愛玩動物飼養管理士2級…97.8%合格、サロントリマー検定3級…100%合格、Word検定3級…93.2%合格、Excel検定3級…80%合格、サロントリマー検定1級…81.8%合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
88 人	2 人	2.2%
(中途退学の主な理由) 精神的な病、授業に興味がないため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 産業カウンセラーのカウンセリングやSNS相談によるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師・美容学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,276 単位時間	1,920 時間	時間	1,356 時間	時間	時間
			3,276 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
90人		106人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、動物看護師としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、看護、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
36人 (100%)	0人 (0%)	36人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
動物病院、ペットショップ、その他ペット関連企業			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%、愛玩動物飼養管理士2級…100%合格、アニコムレセプター検定…100%合格、Word検定3級…91.6%合格、Excel検定3級…88.8%合格、ペット栄養管理士試験…100%合格、サロントリマー検定3級…100%合格、愛玩動物看護師(国家資格)…90.9%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
111 人	1 人	0.9%
(中途退学の主な理由) 授業に興味がないため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペットケア・ビジネス学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	総合動物飼育コース -単位時間	時間	時間	時間	時間	時間
			-単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	猫飼育プロコース -単位時間	時間	時間	時間	時間	時間
			-単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	ペットライフアドバイザーコース -単位時間	時間	時間	時間	時間	時間
			-単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
-人	-人	-人	-人	-人	-人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットショップスタッフとしての専門技能および、实际生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p>

<p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p><卒業の条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

<p>卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)</p>			
<p>卒業者数</p>	<p>進学者数</p>	<p>就職者数 (自営業を含む。)</p>	<p>その他</p>
<p>16人 (100%)</p>	<p>0人 (0%)</p>	<p>10人 (62.5%)</p>	<p>6人 (37.5%)</p>
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ペットショップ、その他ペット関連企業</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスをを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。</p>			

(主な学修成果 (資格・検定等))

コミュニケーション検定初級…93.7%合格、社会人常識マナー検定 3 級…100%合格、愛玩動物飼養管理士 2 級…93.7%合格、Word 検定 3 級…87.5%合格、Excel 検定 3 級…75%合格、ホリスティックケアカウンセラー…100%合格、損害保険募集人基礎…80%合格

(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	1 人	8.3%
(中途退学の主な理由) 生活環境の乱れのため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	ペットショップビジネス学科	名称変更申請予定	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	総合動物飼育コース 1,808 単位時間	920 時間	時間	888 時間	時間	時間
			1,808 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	猫飼育プロコース 1,808 単位時間	920 時間	時間	888 時間	時間	時間
			1,808 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	ペットフード・グッズ アドバイザーコース 1,808 単位時間	952 時間	時間	856 時間	時間	時間
			1,808 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
20人		6人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットショップスタッフとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p>

<p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p><卒業の条件></p> <ul style="list-style-type: none"> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

<p>卒業者数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)</p>			
<p>卒業者数</p>	<p>進学者数</p>	<p>就職者数 (自営業を含む。)</p>	<p>その他</p>
<p>0人 (0%)</p>	<p>0人 (0%)</p>	<p>0人 (0%)</p>	<p>0人 (0%)</p>
<p>(主な就職、業界等)</p> <p>ペットケア・ビジネス学科から名称変更した学科のため記載できず。</p>			
<p>(就職指導内容)</p> <p>ペットケア・ビジネス学科から名称変更した学科のため記載できず。</p>			

<p>(主な学修成果 (資格・検定等)) ペットケア・ビジネス学科から名称変更した学科のため記載できず。</p>
<p>(備考) (任意記載事項)</p>

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	1 人	16.6%
(中途退学の主な理由) 授業に興味がない		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	海洋生物・ドルフィン学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	-単位時間	時間	時間	時間	時間	時間
			-単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
-人		-人	-人	-人	-人	-人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、水族館スタッフとしての専門技能および、実際に生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>

<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	11人 (91.6%)	1人 (8.3%)
(主な就職、業界等) 水族館、養鯉場、観賞魚店、その他ペット関連企業			
(就職指導内容) 目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…100%合格、潜水士…100%合格、Word検定3級…100%、Excel検定3級…58.3%合格、観賞魚飼育管理士ベーシックレベル…100%合格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	水族館・ドルフィン学科	名称変更申請中	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1,744 単位時間	1,152 時間	時間	592 時間	時間	時間
			1,744 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
70人		48人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、水族館スタッフとしての専門技能および、実際に生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 海洋生物・ドルフィン学科から名称変更した学科のため記載できず。			
(就職指導内容) 海洋生物・ドルフィン学科から名称変更した学科のため記載できず。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 海洋生物・ドルフィン学科から名称変更した学科のため記載できず。			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	20 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 授業に興味がないため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師・リハビリ介護学科	○	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	3,084 単位時間	1,920 時間	時間	1,164 時間	時間	時間
			3,084 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
75人		94人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、リハビリテーションや動物看護師としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>

卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、動物看護、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、看護、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
19人 (100%)	1人 (5.2%)	18人 (94.7%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
動物病院、畜産、その他ペット関連施設			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。個々の進路選択についてアドバイスを行う。応募書類作成、面接、インターンシップについての指導や手配を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
コミュニケーション検定初級…100%合格、社会人常識マナー検定3級…90.5%、愛玩動物飼養管理士2級…100%合格、アニコムレセプター検定…100%合格、Word検定3級…95%合格、Excel検定3級…95%合格、ペット栄養管理士試験…100%合格、リハビリ関連資格(3種)…95%合格、愛玩動物看護師(国家資格)…88.2%合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
89 人	3 人	3.3%
(中途退学の主な理由) 進路の変更(就職希望)、精神的な病のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科	-	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4,182 単位時間	2,290 時間	時間	1,892 時間	時間	時間
			4,182 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		14人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、リハビリテーション、動物看護師としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格</p>

<p>した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、動物看護、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、看護、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。 必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2021年度新設学科のため完成年度を向かえておらず記載できず			
(就職指導内容) 2021年度新設学科のため完成年度を向かえておらず記載できず			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2021年度新設学科のため完成年度を向かえておらず記載できず			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物看護師・リハビリ・トリマー学科	-	名称変更申請予定		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4,060 単位時間	2,092 時間	時間	1,968 時間	時間	時間
			4,060 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		18	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>高度専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、リハビリテーション、動物看護師としての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p>

進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。
卒業・進級の認定基準
<p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、動物看護、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、看護、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
学修支援等
<p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等)			
愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科より名称変更する学科のため記載できず			
(就職指導内容)			
愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科より名称変更する学科のため記載できず			
(主な学修成果(資格・検定等))			
愛玩動物看護師・リハビリ・トリマー学科より名称変更する学科のため記載できず			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
18 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	大学併修 総合動物看護学科		-	名称変更申請予定		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		開設している授業の種類				
				講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	4,064 単位時間		2,032 時間	時間	2,032 時間	時間	時間
				4,064 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人		45人	0人	25人	7人	35人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
<p>(概要)</p> <p>高度専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、ペットグルーマー、リハビリテーション、動物看護師としての専門技能および、实际生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画(シラバス)を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>(概要)</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績(100点満点)、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p>	

進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。
卒業・進級の認定基準 (概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、動物看護、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、看護、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。
学修支援等 (概要) クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、カウンセラーを導入している。

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 動物看護師・リハビリ・トリマー学科より名称変更する学科のため記載できず			
(就職指導内容) 動物看護師・リハビリ・トリマー学科より名称変更する学科のため記載できず			
(主な学修成果(資格・検定等)) 動物看護師・リハビリ・トリマー学科より名称変更する学科のため記載できず			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
21 人	1 人	4.7%
(中途退学の主な理由) 進路変更 (就職希望) のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	海洋生物・アクアリウム学科	-	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3,438 単位時間	1,774 時間	時間	1,664 時間	時間	時間
			3,438 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		4人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>高度専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、水族館スタッフやネイチャーアクアリストとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>高度専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、そ</p>

<p>の点数に関わらず成績はC評価となる。 追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。 必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2022年度新設学科のため完成年度を向かえておらず記載できず			
(就職指導内容) 2022年度新設学科のため完成年度を向かえておらず記載できず			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2022年度新設学科のため完成年度を向かえておらず記載できず			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
5人	1人	20%
(中途退学の主な理由) 精神的な病のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	大学併修 海洋生物・自然環境学科	-	名称変更申請予定		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3,568 単位時間	2,064 時間	時間	1,504 時間	時間	時間
			3,568 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
60人		20人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>高度専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>学生に対し、動物管理の一環として、水族館スタッフやネイチャーアクアリストとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>高度専門士授与の方針に定める目標を達成するために、次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。</p> <p>以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。</p> <p>科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」95点以上 ・「A」80点以上95点未満 ・「B」70点以上80点未満 ・「C」60点以上70点未満 ・「D」60点未満 <p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、そ</p>

<p>の点数に関わらず成績はC評価となる。 追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。 進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p>
<p>(概要) 動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業、水生生物を扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には水槽の日常的な管理、水生生物の扱い方、種類や生態について理解していることが必要である。 卒業および、進級の条件を下記の通り定める。 <進級の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 <卒業の条件> ①年間総授業時限数の90%以上を出席した者 ②科目の評価が全て「C」以上である者 ③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者 ④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者 卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p>
<p>(概要) クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。 必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 2025年度完成年度を向かえる海洋生物・アクアリウム学科より名称変更する学科のため記載できず			
(就職指導内容) 2025年度完成年度を向かえる海洋生物・アクアリウム学科より名称変更する学科のため記載できず			
(主な学修成果(資格・検定等)) 2025年度完成年度を向かえる海洋生物・アクアリウム学科より名称変更する学科のため記載できず			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
12 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	動物飼育・ケア学科	-	-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	オンライン・通学コース 868 単位時間	516 時間	時間	352 時間	時間	時間
			868 単位時間				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼間	専攻コース 904 単位時間	32 時間	時間	872 時間	時間	時間
			904 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		4人	0人	28人	7人	35人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>【概要】 次のような方針に沿って教育課程を編成して実施する。 学生に対し、動物管理の一環として、ペットショップスタッフとしての専門技能および、実際生活に必要な能力を養成するとともに、文化的教養の向上を図り、新潟県のペット関連産業振興の一助として「動物愛護の精神に立ち、幅広い創造性に溢れた人間」を育て、社会に貢献し得る人材を輩出することを目的とする。 以上の教育方針の達成を目的として、授業計画（シラバス）を作成しホームページに公表する。シラバスを作成する過程については、次の通りとする。</p> <p>①各学科の担当教員が、前年度の授業についての学生および関連する教員からの意見を集約し、素案を作成する。その際に、学科ごとに教務課長と協議し、各科目の到達目標を設定する。</p> <p>②これを、関連する分野の企業、有識者からなる教育課程編成委員会にて協議し、その意見を聴取する。再度、各学科の担当教員がその意見を反映し、完成度の高いものへ修正を行う。</p> <p>③最終的に、教務課長、教務部長、校長により調整を行い、完成させる。当年度のシラバスとして、毎年4月に学校のホームページにて公表を行う。</p> <p>授業計画に定める授業時数の1単位時間は45分とし、授業は2単位時間連続して行うものとする。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要） 成績評価を各科目別に行い、その終了時に評価を行う。評価試験での成績（100点満点）、レポート試験、実技試験などと、平常点で評価を行う。平常点とは、その科目担当講師が、検定の取得状況、平素の授業態度、確認テスト、出席率、ホームワークの提出状況等の資料を基に総合的に判断するものである。 科目の点数は、次のように成績評価へ反映する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「S」 95点以上 ・「A」 80点以上95点未満 ・「B」 70点以上80点未満 ・「C」 60点以上70点未満 ・「D」 60点未満

<p>D評価は、不合格であり、追試験を受験する必要がある。追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>追試験に不合格した場合、認定試験を受験する必要がある。認定試験に追試験に合格した場合、その点数に関わらず成績はC評価となる。</p> <p>進級および、卒業のためには、全ての科目がC評価以上でなければならない。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>動物を取り扱う産業、ペットを扱う産業の就業現場で求められる、飼育管理に関する知識と技術を身に付けた学生を卒業認定する。具体的には動物の日常の世話、健康管理、グルーミング、トレーニングについて理解していることが必要である。</p> <p>卒業および、進級の条件を下記の通り定める。</p> <p><進級の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p><卒業の条件></p> <p>①年間総授業時限数の90%以上を出席した者</p> <p>②科目の評価が全て「C」以上である者</p> <p>③学校指定の検定(第4章9. 取得検定を参照)を2つ以上合格した者</p> <p>④授業料、その他の納入金を完納した者 または、所定の手続きを終えた者</p> <p>卒業および、進級の判定について、判定会議を行い決定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>クラス担任、教務課長、教務部長、その他教務と連携して、相談対応を行なっている。必要に応じ、産業カウンセラーを導入している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
7人 (100%)	0人 (0%)	1人 (14.2%)	6人 (85.7%)
(主な就職、業界等)			
動物病院(内部進学・専攻コース)			
(就職指導内容)			
目指す業界の現状やニーズ、内容を説明する。			
(主な学修成果(資格・検定等))			
社会人常識マナー検定3級…60%合格、愛玩動物飼養管理士検定2級…60%合格、Word検定3級…50%合格			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 専門のカウンセラーによるカウンセリング、転科、休学等の提案を行う。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考(任意記載事項)
ドッグトレーニング 学科	80,000 円	930,000 円	370,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
動物飼育管理学科	80,000 円	930,000 円	350,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
ペット栄養・メディ カルトリマー学科	80,000 円	930,000 円	350,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
ネイチャーアクアリ ウム学科	80,000 円	930,000 円	450,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
ペット美容学科	80,000 円	930,000 円	330,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
動物看護師・美容学 科	80,000 円	930,000 円	330,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
ペットショップビジ ネス学科	80,000 円	930,000 円	300,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
水族館・ドルフィン 学科	80,000 円	930,000 円	450,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
動物看護師・リハビ リ介護学科	80,000 円	930,000 円	330,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
大学併修 総合動物 看護学科	80,000 円	930,000 円	330,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
大学併修 海洋生 物・自然環境学科	80,000 円	930,000 円	450,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
動物飼育・ケア学科	80,000 円	730,000 円	100,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
愛玩動物看護師・リ ハビリ・トリマー学 科	80,000 円	600,000 円	360,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)、実験実習料(年間) の合計
動物看護師・リハビ リ・トリマー学科	80,000 円	900,000 円	330,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費の合計
海洋生物・アクアリ ウム学科	80,000 円	900,000 円	450,000 円	その他は、施設設備費(年間)、設備 維持費(年間)の合計
修学支援(任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 国際ペットワールド専門学校ホームページにて公表 zikohyouka_2023.pdf (wan-c.jp)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者評価委員は、学校の自己評価に基づき、学校概要、目標及び計画、各学科等の教育、教職員、実践的職業教育、教育活動、教育環境、学生の生活支援、学生納付金、学校財務、学校評価、国際連携、その他の各項目について評価、意見を行う。評価委員は、動物関連の企業、校友会（卒業生）、近隣住民から3名以上とする。聴取した意見について、校長、副校長、教務部長で検討会議を行い、翌年度へ向けて現実的に改善可能な該当箇所の整備にあたる。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
あなたとうさぎ	2023年4月1日～ 2026年3月31日	企業等委員
wan on one	2023年4月1日～ 2026年3月31日	企業等委員
国際ペットワールド専門学校校友会	2023年4月1日～ 2026年3月31日	卒業生
国際ペットワールド専門学校 Club WaN 会員	2023年4月1日～ 2026年3月31日	近隣住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 国際ペットワールド専門学校ホームページにて公表 r5_schoolrelationship.pdf (wan-c.jp)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) WaN 国際ペットワールド専門学校 新潟県唯一で日本海側最大級の動物系総合専門学校 (wan-c.jp)
